

令和6年度 新・宮城の将来ビジョン推進事業及び復興・サポート事業一覧

【凡例】

- ☆ : 特に注力する事業
- <新・宮城の将来ビジョン実施計画>
- ◎ : 新・宮城の将来ビジョン推進事業
- [復サ] : 復興・サポート事業

基本方向 1

豊かな人間性と社会性の育成

- (1) 生きる力を育む「志教育」の推進【重点的取組 1】
- (2) 思いやりがあり感性豊かな子供の育成【重点的取組 2】
- (3) いじめへの対応、人権教育の推進【重点的取組 3】

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
◎	志教育支援事業	東日本大震災の経験を踏まえ、児童生徒が社会において果たすべき自己の役割を考え、自ら生き方を主体的に追求するよう促し、社会人・職業人として生涯にわたって自立する上で必要な能力や態度を育てる。 <令和6年度の主な取組> ・志教育支援事業推進会議の開催 ・道徳教育推進協議会の開催及び指導者養成研修への派遣 ・豊かな心を育む研究指定校での公開研究会等の開催 ・豊かな心を育む小・中学生ハートフルミーティングの開催 ・豊かな心を育む道徳教育指導者研修会の開催	R6-R10	1,846	義務教育課
☆ ◎	志教育推進地区指定事業 新規	実践体験型PBL* (Problem Based Learning) による総合的な学習の時間の取組を見直し、児童・生徒の主体的な学びを大切に志教育を推進する。その成果を検証し、得られた成果や知見を県内に広げることで志教育の一層の推進につなげる。対象は県内中学校区2地区(3年間)。 *実践体験型PBL: 地域社会と連携し課題解決に取り組む学習 <令和6年度の主な取組> ・総合的な学習の時間を中心に実施 ・地域の人々と共に課題設定、課題追究、社会への働き掛けを実施	R6-R8	2,000	義務教育課
◎	高等学校「志教育」推進事業	高校生が自ら社会で果たすべき役割を主体的に考えながら、より良い生き方を目指し、その実現に向かって意欲的に物事に取り組む姿勢を育む教育を推進する。また、将来宮城の医師や教師となる志を持つ生徒を対象として、講演会や特別講座等を実施し、学力や学習意欲の向上を図る。 <令和6年度の主な取組> ・「志教育」研究指定校による取組への支援 ・みやぎ高校生フォーラムの開催 ・みやぎ高校生マナーアップ運動の推進 みやぎ高校生マナーアップ運動の実施(春・秋) みやぎ高校生マナーアップフォーラムの開催 ・医師を志す高校生特別講座等の実施 ・教師を志す高校生による大学研究室訪問の実施	R6-R10	6,009	高校教育課
◎	進路達成支援事業	高校生に対して自らが社会でどのような役割を果たすべきかを考えさせ、志を持って高校生活を送ることができるよう支援する。模擬面接等により内定率の持続や定着率の向上を目指す。 <令和6年度の主な取組> ・進路達成セミナーの開催 ・「しごと応援カード」の作成と配布 ・企業説明会、就職面接会の実施	R6-R10	3,127	高校教育課
☆ ◎	専門教育次世代人材プロジェクト事業 (再掲) 新規	専門高校等の特色・強みを踏まえて、地域の課題・人材育成のニーズに応じることにより、人間関係形成・社会形成能力、課題解決能力、自己理解、自己管理能力、キャリア・プランニング能力の醸成を図るとともに、地域活性化の担い手として、分野や領域の壁を越えて人や組織の「協働」を創出し、地域産業の振興を推進できる人材を育成する。 <令和6年度の主な取組> ・生徒委員による協働・探究学習(グループワーク)の開催(3~5回) 地域活性化に向けた講演、座談会、各学校の取組や課題の共有 地場産品を活用した商品開発 ・いしのまきパートナーシップ協議会の開催(3回) ・「地域活性化アイデア発表」実施	R6-R8	3,031	高校教育課
◎	みやぎ若者活躍応援事業	宮城の次代を担うリーダー養成塾の開催や青少年の意見表明機会の提供により、青少年の育成並びに社会参加及び活躍を促進し、地方創生に資する人材の育成を図る。 <令和6年度の主な取組> ・ネクストリーダー養成塾の開催 ・みやぎの青少年意見募集事業の実施 ・みやぎの若者社会参画促進事業の実施	R6-R7	2,554	共同参画社会推進課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
07 ◎	人と自然の交流事業	自然環境に恵まれた県立自然の家の社会教育施設を活用した自然体験プログラムを実施し、環境保全等に対する理解の動機付けを図るとともに、一人一人が置かれている日々の生活の中で自ら意識を改革し、より良く行動する人材の育成を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・県立自然の家での自然体験プログラム（学習体験）の実施	R6-R10	2,122	生涯学習課
08 ◎	むらまち交流拡大推進事業	田植えや稲刈りなどの農山漁村体験等による都市と農山漁村の交流拡大を推進するため、農山漁村体験受入団体等の情報発信や受入団体等の人材育成及び受入環境の整備などを支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・都市農村交流アドバイザー派遣による現地指導や研修会の開催による受入団体等のスキルアップ	R6-R6	4,221	農山漁村なりわい課
09 ◎ [復サ]	児童生徒支援体制充実事業（再掲）	児童生徒自身が抱える問題や児童生徒を取り巻く震災等による環境（家庭、養育環境、友人関係等）の変化等、多様な要因により生じるいじめ対策や不登校支援のために、スクールソーシャルワーカーや支援員等の配置・派遣、心のケア・いじめ対策・不登校児童生徒等支援チームや児童生徒の心のサポート班の運営により、児童生徒や家庭、学校へ多様な支援を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・児童生徒支援ネットワーク推進協議会の設置 ・スクールソーシャルワーカー活用事業（市町村委託）の実施 ・いじめ防止動画コンクールの実施 ・児童生徒の心のサポート班による学校等への直接支援及び市町村が設置する教育支援センター（みやぎ子どもの心のケアハウス）との連携推進、運営支援 ・スクールロイヤーを活用した生徒指導上の諸課題の対応	R6-R10	370,372	義務教育課
10 ◎ [復サ]	高等学校生徒支援体制充実事業（再掲）	いじめ、不登校及び中途退学に対応するため、生徒指導や自己有用感の涵養を図る学習活動の補助を行う学校生活適応支援員、学校等への生徒指導の支援を行う心のサポートアドバイザーを配置するとともに、関係機関や外部の専門家等との連携・協力のネットワークを強化し、組織的・体系的な生徒指導を進め、いじめ、不登校及び中途退学の未然防止を図るとともに、早期発見・早期解決を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・教育活動充実支援事業 ・学校生活適応支援員の配置（希望する県立高校） ・心のサポートアドバイザーの配置（県教育委員会） ・精神保健研修会の開催支援 ・ネットパトロールの実施 ・高等学校生徒指導連絡会議等の開催 ・宮城県いじめ問題対策協議会及び宮城県いじめ防止対策調査委員会の開催	R6-R10	116,838	高校教育課
11 ◎	みやぎ「魅力ある・行きたくなる学校づくり」推進事業（再掲）	生徒指導上の課題に係る研修会等を通じて、いじめ・暴力行為等の問題行動や不登校等の悩みを抱える児童生徒に適切に対応できる教職員の資質・能力の向上を図る。また、いじめや不登校等の未然防止、早期対応の充実を目指し、課題を抱える市町村教育委員会の支援を通して、域内の学校の校内指導体制及び学校間連携等の関係機関との連携体制の構築・整備を促進し、その成果を広く周知する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・みやぎ「魅力ある・行きたくなる学校づくり」推進地区の指定 ・みやぎ「魅力ある・行きたくなる学校づくり」研修会 ・不登校児童生徒支援に関する情報交換会の開催	R6-R10	827	義務教育課
12 ◎ [復サ]	教育相談充実事業（再掲）	児童生徒自身が抱える問題や震災による影響等の変化により精神的な苦痛や不安を覚える児童生徒に対して、学校生活の中で心の安定が図られるよう、スクールカウンセラーの配置・派遣を通して、一人一人へのきめ細かい心のケアを行うとともに、相談支援体制の一層の充実を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・県内中学校へのスクールカウンセラーの配置と小学校への派遣 ・学校や市町村教育委員会の要望に応じたスクールカウンセラーの配置・派遣 ・各教育事務所等への専門カウンセラーの配置 ・不登校児童生徒を支援する施設への支援員やボランティアの派遣	R6-R10	458,998	義務教育課
13 ◎ [復サ]	高等学校スクールカウンセラー活用事業（再掲）	全県立高校にスクールカウンセラーを配置することにより、多様化・複雑化した生徒・保護者・教員の相談に対応するとともに、地域の関係機関や家庭と連携した指導の充実を図るため、学校の要望に応じ、スクールソーシャルワーカーを配置・派遣する。また、スーパーバイザー等を活用した連絡会議を開催し、震災後の心のケアに関する教職員の資質向上に資するとともに、校内の教育相談体制の強化を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・スクールカウンセラーの配置（全県立高校） ・スクールソーシャルワーカーの配置（希望する県立高校） ・スーパーバイザーの配置 ・スクールカウンセラー連絡会議の開催 ・スクールソーシャルワーカー連絡会議の開催	R6-R10	104,464	高校教育課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
14 ◎	総合教育相談事業 (再掲)	心の問題に関する高度な専門的知識・経験を有する精神科医や臨床心理士が、いじめ、不登校、非行等について、面接又は電話等による教育相談を行う。また、特に震災による心の傷が癒えず様々な環境の変化に適應できない児童生徒に対応して心のケアを進めるよう、相談体制を強化する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・不登校・発達支援相談室の設置 ・24時間子供SOSダイヤルの設置 ・SNSを活用した相談の実施	R6-R10	38,068	高校教育課
15 ☆ [復サ]	みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業 (再掲)	学校生活に困難を抱えるようになった児童生徒の、社会的自立や自らの意思による学校復帰を希望する児童生徒への支援を目的として市町村が行う体制整備を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・ケアハウス運営のための補助制度 ・心のケア・いじめ対策・不登校児童生徒等支援プロジェクトチーム、心のサポートアドバイザー、児童生徒の心のサポート班の巡回訪問及び助言等 ・ケアハウス情報交換会の開催 ・民間施設等関係機関との連携強化	R6-R7	204,183	義務教育課
16 ◎	子どもメンタルサポート事業	児童精神科医により心の問題を有する児童やその家族に専門的なケアを行うとともに、子供の状態に応じた社会適應訓練を提供する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・子どもメンタルクリニックの運営 ・子どもデイケアの運営	R6-R10	34,526	子ども・家庭支援課
17 ☆ ◎	ICTを活用した心の健康観察事業 新規	モデル校を指定し、生徒に貸与されている情報端末等に「心の健康観察相談システム」を導入することで、自死をはじめとする生徒の諸問題への対策として、日常的な心の健康観察等から生徒が発信するSOSサインの早期発見と適切な支援につなげる体制を構築し、その効果について検証を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞(モデル校3校程度) ・相談システムの導入支援 ・生徒及び教職員対象のSOSの出し方教育を含む自死予防教育に係る研修等の開催支援 ・高リスクの生徒への対応としてSC・SSWの緊急派遣	R6-R8	4,448	高校教育課
	合計			1,357,634	

基本方向 2

健やかな体の育成

- (1) 健康な体づくりと体力・運動能力の向上【重点的取組 4】
- (2) 食育の推進
- (3) 心身の健康を育む学校保健の充実

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
01 ◎	基本的な生活習慣定着促進事業(再掲)	<p>家庭・学校・地域・企業等と連携・協力し、宮城の将来を担う子供達に「しっかり寝る・きちんと食べる・よく遊ぶで健やかに伸びる(ルルブル)」の普及と定着促進を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <p>【ルルブル普及啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の重要性を伝えるリーフレットの制作・配布 ・企業等と連携した普及啓発事業の実施 ・みやぎっ子ルルブル推進会議の開催 ・ルルブル通信の発行・みやぎ出前講座の実施等 ・ルルブルのウェブサイトによる情報発信 <p>【ルルブル定着促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルルブル・エコチャレンジ事業の実施 ・朝食摂取習慣化事業の実施 	R6-R10	7,663	義務教育課
02 ☆ ◎	体力・運動能力向上センター事業	<p>巡回指導員や地域センター指導員による巡回指導や、教員の意識の高揚と授業力向上を目的とした研修等の各事業を系統的に展開し、児童生徒の体力・運動能力の向上を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター巡回指導員による教育委員会及び学校訪問 ・地域センター員による学校訪問 ・体力・運動能力センター運営会議 ・体力・運動能力向上に関する講習会 ・健康・体力づくり研修会 ・体力・運動能力調査の分析と検証 ・Web運動広場の拡充 	R6-R7	15,432	保健体育安全課
03 ◎	部活動指導員配置促進事業(再掲)	<p>中学校及び高等学校における部活動指導体制の充実を推進し、部活動を担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員の配置 	R6-R10	67,235	保健体育安全課 生涯学習課
04 ☆ ◎	部活動地域移行推進事業(再掲) 拡充	<p>学校と地域が一体となって、将来に渡り生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するため、公立中学校の部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた体制整備を進める。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行に向けた実証事業 ・指導者人材バンクの設置 	R6-R10	46,912	保健体育安全課 生涯学習課 スポーツ振興課
05 ◎	みやぎの食育推進戦略事業	<p>「第4期宮城県食育推進プラン」に基づき、県民が食や健康に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け、健全な食生活と心身の健康づくりを実践できるよう食育の普及啓発を行う。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向け食育普及啓発(食育普及啓発チャレンジ事業) ・みやぎ食育コーディネーター等の育成及び食育活動への支援 ・食育・食生活実態調査の実施 	R6-R10	5,157	健康推進課
06 ◎	食生活改善普及事業	<p>「第4期宮城県食育推進プラン」及び「第3次みやぎ21健康プラン」に基づき、適切な栄養・食生活の知識や実践方法などについて、ライフコースや地域の実情に合わせた普及啓発を行う。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・減塩や適正体重の維持など、世代に応じた食生活改善の普及啓発を市町村単位で実施 ・市町村及び食生活改善地区組織との連携等による普及啓発 	R6-R10	930	健康推進課
07 ◎	スマートみやぎプロジェクト	<p>県民の健康づくりを推進するため、スマートみやぎ健民会議(県民運動)を基盤とし、市町村や民間企業等との連携と協働により、子どもから大人まで全ライフステージへの切れ目のない支援体制の構築と社会環境の整備を行う。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村や企業との連携により、日常における健康づくりの実践をサポートする拠点を整備 ・デジタル身分証アプリを活用した運動量増加のキャンペーン開催 ・生涯にわたる健康習慣の定着を図るため、市町村、保育、教育機関等と連携し、親子を対象とした取組を実施 	R6-R10	15,606	健康推進課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
08 ◎	メタボリックシンドローム対策戦略事業	「第3次みやぎ21健康プラン」に基づき、メタボリックシンドロームの改善など健康づくりを推進するため、家庭、地域や職域等各分野との連携を強化し、食生活の改善、身体活動量の増加、たばこ対策を中心とした生活習慣の改善の啓発事業を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・保健所単位で市町村や職域等の関係機関と連携会議を開催し、メタボ予防啓発事業を行う。 ・質の高い健診・保健指導の拡大を図るため、保健指導従事者、保健指導のリーダー専門職等を対象とした研修（健診・保健指導等実践者育成事業）を行う。	R6-R10	3,716	健康推進課
09 ◎	食育・地産地消推進事業	県内で生産される農林水産物に対する理解の向上や消費・活用の促進を図るため、地産地消を全県的に推進する。また、県産食材や地産地消の必要性について理解を深めるため、食育を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・高校生地産地消お弁当コンテストの開催 ・食材王国みやぎ「伝え人（びと）」による食育活動の支援	R6-R6	8,487	食産業振興課
10 ◎	みやぎの有機農業等推進事業	消費者に分かりやすく、生産者においても差別化が可能な有機農業の取組拡大を推進し、環境に配慮した農業生産の取組支援と理解促進を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・環境にやさしい農産物キャンペーンの実施 ・学校給食への有機農産物の提供等、地域ぐるみで有機農業に取り組む市町村への支援	R6-R7	13,659	みやぎ米推進課
	合計			184,797	

基本方向3

確かな学力の育成

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の伸長【重点的取組5】
- (2) ICTによる学びの充実と情報活用能力の育成【重点的取組6】
- (3) 国際理解を育む教育の推進
- (4) 社会形成・社会参加に関する教育（シチズンシップ教育）の推進
- (5) 環境教育の推進

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
01 [復サ]	児童生徒の学習意識調査事業	東日本大震災の影響やこれまでの意識調査の結果等を踏まえ、授業づくりなどの検証・改善を行い、学校の学びの場としての価値を高めるとともに、これらの検証・改善の状況を把握するため、児童生徒の学習意識調査を実施する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・生活習慣、学習意識等児童生徒に対する調査の実施 ・児童生徒への関わり方、指導方法等学校に対する調査の実施	R6-R10	1,540	義務教育課
02 ◎	小中学校学力向上推進事業	学ぶことの意義を確認させながら学習習慣の形成を図るとともに、教員の教科指導力の向上を図る。また、学力向上に取り組む市町村教育委員会に対して支援を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・指導力に優れた教員の学校等への派遣 ・学力調査の活用と学力向上に向けた研修の実施 ・科学の甲子園ジュニア宮城県予選会の実施 ・本県の課題である学力向上対策を検討するための協議会の開催 ・「算数チャレンジ大会（算チャレ）2024」の開催	R6-R10	2,446	義務教育課
03 ☆ ◎	学力向上マネジメント支援事業	市町村教育委員会が、学力向上を推進する体制を構築することを支援し、県内全域への水平展開を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・学力向上マネジメントアドバイザーの派遣 ・学力向上マネジメント推進協議会の開催 ・学力向上PDCAサイクルの活用 ・AIドリルの導入	R6-R6	39,391	義務教育課
04 ◎	高等学校学力向上推進事業	高校生の学力調査を実施して生徒の学力・学習状況を把握するとともに、要請のあった高校に指導主事を派遣し、高等学校教育の質の保証のため、生徒の学力向上及び教員の指導体制の確立を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・基礎学力の定着に向けた学習サポーターの配置 ・みやぎ学力状況調査の実施 ・探究活動等指導者養成講座	R6-R10	23,004	高校教育課
05 ◎	学級編制弾力化事業	学習習慣の着実な定着や問題行動等の低減を図るため、中学校の第1学年において少人数学級を導入し、きめ細かな教育活動の充実を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・中学校の第1学年における35人以下学級編制の実施	R6-R10	325,826	義務教育課 教職員課
06 ☆ ◎	地域進学重点校改革推進事業	地域進学重点校10校において地域課題や魅力に着目した探究活動を実施し、生徒の学力向上と進路実績の向上を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・地域進学重点校から南部、東部、北部から各1校を改革推進校に指定し、地域コーディネータを各1名ずつ配置 ・改革推進校は、外部有識者等でコンソーシアムを形成 ・学校設定科目等の創設を視野にカリキュラム ・マネジメントの実践研究の実施 ・研究協議会、大学入試対策教員研修会、合同学習会等の実施	R6-R7	8,873	高校教育課
07 ☆ ◎	みやぎ「学びのDX」推進事業 新規	「個別最適な学びに関するモデル事業」（R3～R5）の成果のさらなる水平展開を図るため、「授業改善」と「学びのDX」に向けた次のような取組を通して、県内小・中学校における「令和の日本型学校教育」の構築を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・「動画で分かる『授業改善×学びのDX』」の制作・配信 ・学びのDX推進アドバイザーの派遣 ・みやぎ「授業改善×学びのDX」推進フォーラムの開催	R6-R8	13,500	義務教育課
08 ☆ ◎	特別な支援を要する児童生徒に対するICT活用教育推進事業（再掲）	特別支援学校においてICT活用による教科指導の充実や切れ目のない学びの提供により、児童生徒の実態に応じた個別最適な学びを実現する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・アバターロボット及びAIドリルの導入 ・同時双方向型遠隔授業の実施 ・児童生徒の実態に応じた個別最適な学びの実践	R6-R7	1,750	特別支援教育課
09 ◎	教育ICT活用促進事業	県立学校のICT活用を支援するとともに、教員の活用能力の向上を図るため、「ICT支援員」を派遣する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・ICT支援員の配置・派遣（31校）、スポット対応	R6-R6	42,643	教育企画室

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
10 ☆ ◎	教育DX推進プロジェクト事業	ICT機器を活用し、日本語を母語としない生徒への日本語の授業や専門性の高い授業等を学校間で共有・補完することで、個別最適な学びの実現と学校枠を超えた協働的な学びの実現を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・日本語の理解が不十分な生徒や不登校生徒等への授業の配信 ・自校にない、専門性の高い授業や特色のある授業等の配信 ・採点支援システムの導入 ・AIドリル導入	R6-R7	30,613	高校教育課 教職員課
11 ◎	世界に発信する高校生育成事業	ICTを活用した海外ネイティブ講師や高校生とのオンライン交流により、高校生が実際に英語を使う体験を通して、世界に自分の考えを発信できる英語力を育成する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・研究指定校4校の生徒約500人がICTを活用し、海外にいるネイティブ講師と1対1の英会話を実践 ・国際交流活動の促進 ・研究指定校における、発信力を伸ばすための指導法の工夫・パフォーマンステストの研究	R6-R6	4,009	高校教育課
12 ◎	ICT教育環境整備促進事業	新学習指導要領に定める情報活用能力を養うことができるよう、各教科(普通教室)で活用する生徒用タブレット端末を整備する。また、県立学校の教職員及び児童生徒が利用するパソコンを賃貸借により整備する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・タブレット端末賃貸借 平成30年度契約分(高校11校、中学校2校) ・教職員用ノート型パソコン等の賃貸借(全県立学校分) ・教育用コンピュータの賃貸借(県立高校普通科パソコン教室の整備)	R6-R10	368,682	教育企画室
13 ☆ ◎	採点業務デジタル化による学びの質向上事業(Dスキーム)(再掲) 新規	採点業務における県立中学校及び高等学校の負担軽減を図るとともに、入試事務作業の効率を向上させ、生徒一人一人に対する学習指導、相談体制の充実を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・通常事務へのデジタル採点支援システムの導入 ・入試事務へのデジタル採点支援システムの導入準備	R6-R7	40,500	高校教育課
14 ◎	生徒の英語力向上事業	英語力の向上を図るため、「みやぎの英語教育推進計画」に基づき、グローバル人材としてこれからの時代を生き抜くための素地を形成するとともに、小・中・高の系統立てた外国語教育を実践する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・みやぎの英語教育推進委員会(AIM-C)の実施 ・英語能力測定テスト(英検IBA)の実施 ・外国語指導力向上研修会の実施 ・Miyagi English Libraryの充実	R6-R8	5,552	義務教育課
15 ☆ ◎	みやぎグローバル人材育成事業(再掲)	国際的視野に立って協働的に行動しながら未来を創造し、グローバルに活躍することができる人材の育成を目指し、県立高校において国際バカロレア・ディプロマプログラムの実施を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・ワークショップへの参加 ・先進校視察 ・国際バカロレアの調査研究	R6-R10	112,414	高校教育課 教職員課
16 ◎	志教育支援事業(再掲)	東日本大震災の経験を踏まえ、児童生徒が社会において果たすべき自己の役割を考え、自ら生き方を主体的に追求するよう促し、社会人・職業人として生涯にわたって自立する上で必要な能力や態度を育てる。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・志教育支援事業推進会議の開催 ・道徳教育推進協議会の開催及び指導者養成研修への派遣 ・豊かな心を育む研究指定校での公開研究会等の開催 ・豊かな心を育む小・中学生ハートフルミーティングの開催 ・豊かな心を育む道徳教育指導者研修会の開催	R6-R10	1,846	義務教育課
17 ☆ ◎	志教育推進地区指定事業(再掲) 新規	実践体験型PBL*(Problem Based Learning)による総合的な学習の時間の取組を見直し、児童・生徒の主体的な学びを大切にした志教育を推進する。その成果を検証し、得られた成果や知見を県内に広げることで志教育の一層の推進につなげる。対象は県内中学校区2地区(3年間)。 *実践体験型PBL:地域社会と連携し課題解決に取り組む学習 ＜令和6年度の主な取組＞ ・総合的な学習の時間を中心に実施 ・地域の人々と共に課題設定、課題追究、社会への働き掛けを実施	R6-R8	2,000	義務教育課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
18 ◎	高等学校「志教育」推進事業(再掲)	<p>高校生が自ら社会で果たすべき役割を主体的に考えながら、より良い生き方を目指し、その実現に向かって意欲的に物事に取り組む姿勢を育む教育を推進する。また、将来宮城の医師や教師となる志を持つ生徒を対象として、講演会や特別講座等を実施し、学力や学習意欲の向上を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「志教育」研究指定校による取組への支援 ・みやぎ高校生フォーラムの開催 ・みやぎ高校生マナーアップ運動の推進 <ul style="list-style-type: none"> みやぎ高校生マナーアップ運動の実施(春・秋) みやぎ高校生マナーアップフォーラムの開催 ・医師を志す高校生特別講座等の実施 ・教師を志す高校生による大学研究室訪問の実施 	R6-R10	6,009	高校教育課
19 ◎	みんなで広げる「木育」活動推進事業	<p>幼少期から木とふれあい、学ぶ取組である「木育」活動を支援することにより、木材を使う意義・メリットを広め、森林・林業・木材産業に対する県民理解の醸成を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木育活動の支援 	R6-R7	2,000	林業振興課
20 ◎	生物多様性総合戦略事業	<p>大規模開発や人の生活様式の変化、生物資源の乱獲、外来種の増加、気候変動などによる、生物多様性の損失の減少から回復に向けて、関係機関との連携、普及啓発を促進し、次代を担う世代へみやぎの自然資源を引き継いでいく。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性フォーラムの開催 ・生物多様性活動の表彰 ・生物多様性学習イベントの開催 	R6-R7	469	自然保護課
	合計			1,033,067	

基本方向 4

幼児教育の充実

- (1) 幼児期における「学ぶ土台づくり」の推進【重点的取組 7】
- (2) 幼児教育の充実のための環境づくり

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
01 ☆ ◎	学ぶ土台づくり推進事業	<p>幼児教育センターを中心として、「学ぶ土台づくり」の必要性・重要性を普及啓発する取組を行うとともに、幼児教育の内容面の質の向上を図るため、公私・施設類型の区別なく、研修・支援とその基盤となる研究の取組を行う。また、幼児期の育ちや学びを小学校生活や学習に円滑に引き継ぐために、市町村幼児教育アドバイザー配置のための幼児教育アドバイザー養成講習及び幼児教育アドバイザーフォローアップ研修を実施し、各市町村の幼児教育推進体制の構築を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小合同研修会の実施（広域型・小単位型） ・幼児教育アドバイザーの派遣（施設要請型・定期巡回型） ・幼児教育アドバイザー養成講習、幼児教育アドバイザーフォローアップ研修の実施 ・幼稚園教育課程宮城県研究協議会の開催 	R6-R10	8,269	義務教育課
02 ☆ ◎	みやぎらしい家庭教育支援事業（再掲）	<p>家庭教育に関する相談対応、支援ボランティアの育成及び家庭教育支援チームの普及・定着を図ることにより、家庭教育の充実と振興を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーター、子育てサポーターリーダー養成講座等の実施 ・宮城県家庭教育支援チーム派遣の実施 ・各自然の家での幼児を対象とした自然体験活動の実施と親の「学び」と「育ち」の機会の提供 ・中・高生対象の親になるための学びの機会の提供 	R6-R10	4,506	生涯学習課
03 ☆ ◎ [復サ]	協働教育推進総合事業（再掲）	<p>家庭・地域・学校が協働して子供を育てる環境づくりを推進して、家庭・地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子供を育てる体制の整備を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働教育コーディネーター研修会等の実施 ・協働教育推進功績表彰等の実施 ・「みやぎ教育応援団」マッチング会議等の実施 ・地域学校協働本部の設置・地域学校協働活動の推進 	R6-R7	58,242	生涯学習課
04 ◎	子育て支援を進める県民運動推進事業（再掲）	<p>地域全体で子育てを支援する環境づくりを目指し、企業・団体等の県民総参加による「県民運動」を推進する。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民運動の普及啓発活動、子育て支援情報の発信 ・子育て家庭を対象としたイベントの開催 	R6-R10	15,861	子育て社会推進課
05 ◎	幼稚園等新規採用教員研修事業【教職員CUP事業】（再掲）	<p>公立の幼稚園等の新規採用教諭等を対象に実践的指導力と使命感を養うこと等を目的として研修を実施する。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園等の新規採用教諭等に対する初任者研修の実施 	R6-R10	7,041	教職員課
	合計			93,919	

基本方向 5

多様なニーズに対応し誰一人取り残さない教育の推進

- (1) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進【重点的取組 8】
- (2) 多様性を尊重し共に学び合う教育の推進

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
01 ◎	特別支援教育総合推進事業	関係機関からなる連携協議会を設置し、連携・協力体制の構築を推進するとともに、早期からの教育相談・支援体制を構築するための取組を行う。また、特別支援教育コーディネーターの活動を支援することで、地域における特別支援教育を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・宮城県特別支援連携協議会の開催 ・特別支援学校のセンター的機能の強化による相談対応 ・個別の教育支援計画作成普及事業 ・特別支援教育専門性向上推進事業（研修会等の実施） ・専門家（作業療法士、理学療法士等）の派遣	R6-R10	8,138	特別支援教育課
02 ◎	視覚障害・聴覚障害のある乳幼児に対する教育相談充実事業	視覚や聴覚に障害のある乳幼児の早期発見と早期支援に向け、教育相談体制の構築を進めるとともに、関係機関と連携した切れ目のない支援の提供を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・特別支援学校への専門家（視能訓練士・言語聴覚士等）派遣 ・県内移動教育相談・オンライン教育相談の実施 ・幼稚園・保育所、小学校等での研修会	R6-R10	7,792	特別支援教育課
03 [復サ]	特別支援学校外部専門家活用事業	全ての特別支援学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒へのカウンセリングや教員の指導に対するアドバイスを行うとともに、東日本大震災後の児童生徒に対するよりきめ細かな教育環境を確立する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・スクールカウンセラーの派遣 ・連絡会の開催（年1回）	R6-R10	3,789	特別支援教育課
04 ◎	医療的ケア推進事業	経管栄養等の医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する全ての特別支援学校に看護職員を配置するとともに、巡回指導医及び指導看護師からの指導・助言を受けながら、より安全な医療的ケアを推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・看護職員による医療的ケアの実施 ・巡回指導医・指導看護師による指導・助言	R6-R10	260,662	特別支援教育課
05 ☆ ◎	医療的ケア児通学支援モデル事業	医療的ケアのためにスクールバスによる通学が困難な児童生徒及びその家族の負担軽減のため、介護タクシーに看護職員が同乗し通学を支援する取組をモデル的に試行し、最適な支援の在り方を検討する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・モデル校2校で看護職員同乗による通学支援の実施	R6-R7	1,798	特別支援教育課
06 ◎	医療的ケア児等支援体制整備推進事業	在宅で生活する重症心身障害児者など、医療的ケアを必要とする障害児者が身近な地域で適切な支援が受けられる体制を整備する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・医療的ケア児等及びその家族の相談対応、医療的ケア児等コーディネーターの養成 ・医療型短期入所事業所間の連携強化、空床情報の集約・発信	R6-R7	37,370	精神保健推進室
07 ◎	発達障害児者総合支援事業	発達障害（疑いを含む）のある人やその家族が身近な地域で乳幼児期から成人期における各ライフステージに応じた支援が受けられるよう、支援体制の充実・強化を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・障害児等及び家族等への療育相談、保育所等への療育技術の指導、家族支援 ・市町村等身近な地域の支援者に対する技術支援の実施	R6-R10	122,608	精神保健推進室
08 ◎	多様な子どもの安心子育て支援事業	障害児の早期発見・早期療育に向けた支援体制の整備を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・障害児通所支援事業所等における医療的ケア児の受入促進のため、看護職員の確保・育成、定着支援を実施する。 ・発達障害児支援体制の整備を促進するため、専門職の確保・育成等への支援を実施する。	R6-R6	6,945	精神保健推進室
09 ◎	障害者就業・生活支援センター事業	障害者就業・生活支援センターを設置し、生活担当支援員を配置することにより、生活面を中心とした相談対応や支援を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・障害者の日常生活・地域生活に関する助言 ・離職者も含めた障害者の就労に向けた基礎訓練や自習の支援 ・関係機関との連携強化	R6-R10	34,708	障害福祉課
10 ☆ ◎	特別な支援を要する児童生徒に対するICT活用教育推進事業	特別支援学校においてICT活用による教科指導の充実や切れ目のない学びの提供により、児童生徒の実態に応じた個別最適な学びを実現する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・アバターロボット及びAIドリルの導入 ・同時双方向型遠隔授業の実施 ・児童生徒の実態に応じた個別最適な学びの実践	R6-R7	1,750	特別支援教育課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
11 ☆ ◎	地域と連携した特別支援学校魅力化支援事業 【コミュニティ・スクール推進事業】 (再掲)	学校と地域が学校目標を共有し、目標実現のため学校運営に地域の参画を促す取組を研究するとともに、特別支援学校の教育活動の内容とその魅力を効果的に発信し、魅力ある学校づくりに資する取組を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・学校運営協議会を核とする特別支援教育学校魅力化の推進と研究の実施 ・学校と地域の連携・協働に向けた研修等の実施	R6-R6	2,500	特別支援教育課
12 ◎	特別支援学校校舎改築事業	特別支援学校の狭隘化に対応するため、古川支援学校等への仮設校舎を引き続きリースする。また、既存分校の維持修繕等を行うとともに小松島支援学校への高等部設置・本校化に向け既存校舎の改修や備品整備を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・小松島支援学校松陵校への高等部設置・本校化に伴う改修工事及び備品等整備	R6-R10	157,449	特別支援教育課
13 ☆ ◎	自立と社会参加につながる「共に学ぶ教育」推進モデル事業 新規	特別な支援を要する児童生徒を含む全ての児童生徒が共に学ぶために必要な教育方法や校内体制の確立に向けた支援を行うと共に、小・中・高の連携の強化により、支援を要する児童生徒に対する切れ目ない支援体制の構築を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・モデル校(小・中・高校それぞれ2校)へ専門家を派遣 ・合同連絡会の開催 ・先進校視察 ・フォーラムの開催	R6-R8	3,863	特別支援教育課
14 ◎	外国人児童生徒受入拡大対応事業	今後更なる増加が予想される外国人児童生徒等への教育環境の充実を図るため、委託先である宮城県国際化協会と連携しながらサポーターやアドバイザーを派遣し、学校現場における学習支援体制の充実等に取り組む。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・学校への指導助言を行うアドバイザーの派遣 ・児童生徒の支援を行うサポーターの派遣 ・日本語指導教員等に向けた研修会の開催	R6-R6	13,467	義務教育課
15 ☆ ◎	教育DX推進プロジェクト事業 (再掲)	ICT機器を活用し、日本語を母語としない生徒への日本語の授業や専門性の高い授業等を学校間で共有・補完することで、個別最適な学びの実現と学校枠を超えた協働的な学びの実現を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・日本語の理解が不十分な生徒や不登校生徒等への授業の配信 ・自校にない、専門性の高い授業や特色のある授業等の配信 ・採点支援システムの導入 ・A Iドリル導入	R6-R7	30,613	高校教育課 教職員課
	合計			693,452	

基本方向 6

社会の発展を支える力と郷土を愛する心の育成

- (1) 宮城の将来を担う人づくり【重点的取組9】
- (2) 伝統・文化の尊重と郷土を愛する心の育成
- (3) 文化財の保護と活用

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
01 ◎	志教育支援事業 (再掲)	東日本大震災の経験を踏まえ、児童生徒が社会において果たすべき自己の役割を考え、自ら生き方を主体的に追求するよう促し、社会人・職業人として生涯にわたって自立する上で必要な能力や態度を育てる。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・志教育支援事業推進会議の開催 ・道徳教育推進協議会の開催及び指導者養成研修への派遣 ・豊かな心を育む研究指定校での公開研究会等の開催 ・豊かな心を育む小・中学生ハートフルミーティングの開催 ・豊かな心を育む道徳教育指導者研修会の開催	R6-R10	1,846	義務教育課
02 ☆ ◎	志教育推進地区指定事業 (再掲) 新規	実践体験型PBL* (Problem Based Learning) による総合的な学習の時間の取組を見直し、児童・生徒の主体的な学びを大切に志教育を推進する。その成果を検証し、得られた成果や知見を県内に広げることで志教育の一層の推進につなげる。対象は県内中学校区2地区(3年間)。 *実践体験型PBL: 地域社会と連携し課題解決に取り組む学習 ＜令和6年度の主な取組＞ ・総合的な学習の時間を中心に実施 ・地域の人々と共に課題設定、課題追究、社会への働き掛けを実施	R6-R8	2,000	義務教育課
03 ◎	高等学校「志教育」推進事業 (再掲)	高校生が自ら社会で果たすべき役割を主体的に考えながら、より良い生き方を目指し、その実現に向かって意欲的に物事に取り組む姿勢を育む教育を推進する。また、将来宮城の医師や教師となる志を持つ生徒を対象として、講演会や特別講座等を実施し、学力や学習意欲の向上を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・「志教育」研究指定校による取組への支援 ・みやぎ高校生フォーラムの開催 ・みやぎ高校生マナーアップ運動の推進 みやぎ高校生マナーアップ運動の実施(春・秋) みやぎ高校生マナーアップフォーラムの開催 ・医師を志す高校生特別講座等の実施 ・教師を志す高校生による大学研究室訪問の実施	R6-R10	6,009	高校教育課
04 ◎	進路達成支援事業 (再掲)	高校生に対して自らが社会でどのような役割を果たすべきかを考えさせ、志を持って高校生活を送ることができるよう支援する。模擬面接等により内定率の持続や定着率の向上を目指す。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・進路達成セミナーの開催 ・「しごと応援カード」の作成と配布 ・企業説明会、就職面接会の実施	R6-R10	3,127	高校教育課
05 ◎	みやぎ若者活躍応援事業 (再掲)	宮城の次代を担うリーダー養成塾の開催や青少年の意見表明機会の提供により、青少年の育成並びに社会参加及び活躍を促進し、地方創生に資する人材の育成を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・ネクストリーダー養成塾の開催 ・みやぎの青少年意見募集事業の実施 ・みやぎの若者社会参画促進事業の実施	R6-R7	2,554	共同参画社会推進課
06 ☆ ◎	みやぎグローバル人材育成事業	国際的視野に立って協働的に行動しながら未来を創造し、グローバルに活躍することができる人材の育成を目指し、県立高校において国際バカロレア・ディプロマプログラムの実施を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・ワークショップへの参加 ・先進校視察 ・国際バカロレアの調査研究	R6-R10	112,414	高校教育課 教職員課
07 ◎	産業人材養成教員研修事業 【教職員CUP事業】 (再掲)	工業科等の専門教科担当教員を一定期間企業等に派遣するなどして最新技術を習得させることにより、専門高校等における産業人材育成の活性化を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・専門教科担当教員の企業等への派遣研修等の実施	R6-R9	1,980	教職員課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
08 ☆ ◎	専門教育次世代人材プロジェクト事業 新規	専門高校等の特色・強みを踏まえて、地域の課題・人材育成のニーズに応じるにより、人間関係形成・社会形成能力、課題解決能力、自己理解、自己管理能力、キャリア・プランニング能力の醸成を図るとともに、地域活性化の担い手として、分野や領域の壁を越えて人や組織の「協働」を創出し、地域産業の振興を推進できる人材を育成する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・生徒委員による協働・探究学習（グループワーク）の開催（3～5回） 地域活性化に向けた講演、座談会、各学校の取組や課題の共有 地場産品を活用した商品開発 ・いしのみきパートナーシップ協議会の開催（3回） ・「地域活性化アイデア発表」実施	R6-R8	3,031	高校教育課
09 ◎	みやぎクラフトマン21事業	専門高校生の技術力向上とものづくり産業に対する理解を深め、地域産業を支える人材の確保と育成につなげるため、現場実習や企業等の熟練技能者による実践的な授業等を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・実践的授業支援 ・資格取得支援 ・ものづくりコンテスト充実支援	R6-R9	5,100	高校教育課
10 ◎	「地学地就」産業人材育成事業	富県宮城の将来を支える「ものづくり人材の育成」と「県内企業への就職」を支援するため、経済商工観光部等と連携・協働し、生徒と企業とのマッチングを図り、職場定着の促進を図る。また、県内企業からの採用相談等に対して、人手不足の解消を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・「地学地就」コーディネーターの配置	R6-R9	57,897	高校教育課
11 ◎	ものづくり人材育成確保対策事業	ものづくり産業への興味関心や認知度を向上させるため、ものづくり企業見学会を開催するほか広報誌を作成・配布する。また、高校生等を対象としたキャリア教育セミナーの実施により、県内製造業への就職拡大や早期離職の防止を図るとともに、熟練技能者を工業系高校に派遣するなど、高校生の技能向上等を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・ものづくり企業見学会の開催 ・ものづくり産業広報誌の発行 ・熟練技能者の派遣による実践指導等	R6-R6	36,163	産業人材対策課
12 ◎	産業人材育成プラットフォーム推進事業	産学官の人材育成機関の情報共有等を図るため「みやぎ産業人材育成プラットフォーム」及び「圏域版産業人材育成プラットフォーム」を設置・運営する。また、産業人材育成の気運を醸成するためのフォーラムを開催する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・みやぎ産業人材育成プラットフォームの運営、フォーラムの開催 ・圏域版プラットフォームの運営	R6-R7	1,281	産業人材対策課
13 ◎	社会人との対話によるキャリア発達支援事業	県内の児童・生徒を対象とした社会人との対話プログラムの実践により、勤労観や職業観を醸成し、キャリア発達を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・社会人との対話プログラムの実施 ・キャリア教育推進会議の開催	R6-R6	11,336	産業人材対策課
14 ◎	若年者就職支援ワンストップセンター設置事業	みやぎジョブカフェにおいて、併設の新卒応援ハローワークや企業・学校等と連携し、キャリアコンサルティング、就職支援セミナー等から職業紹介まで、若者の就職活動をワンストップで支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・個別就職相談（キャリアコンサルティング）の実施 ・就職支援セミナーの実施 ・各種就職情報の提供	R6-R10	61,346	雇用対策課
15 ◎	高卒就職者援助事業	県内2地域で合同就職面接会を開催するほか、県内6地域で企業説明会を開催する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・就職面接会の開催（仙台、石巻） ・企業説明会の開催（白石、仙台、塩釜、石巻、大崎、気仙沼）	R6-R6	1,912	雇用対策課
16 ◎	図書館貴重資料保存修復事業	県図書館が所蔵している古絵図などの貴重資料を修復し、後世に伝える。また、複製資料（レプリカ）を作成し、学校教育や生涯学習の場での活用を図り、郷土の歴史・文化への理解促進に役立てる。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・貴重資料（古絵図）の修復作業の実施 ・学校や市町村図書館等への複製資料の貸出	R6-R10	16,555	生涯学習課
17 ◎	多賀城創建1300年記念重点整備事業	多賀城創建1300年（令和6年）に向けて特別史跡多賀城跡附寺跡の保存と活用を図るため、遺跡の環境整備を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・整備工事報告書の刊行	R6-R6	1,940	文化財課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
18 ◎	文化財を活用した地域活性化事業	<p>仙台東部沿岸地域に所在する文化財等を地域の文化振興・観光資源と位置付け、関係市町等と連携・協力して活用し、地域活性化に資する機運醸成・人材育成等の事業を一体的に実施する。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・考古資料を自由に観察できるVRデジタルミュージアムの制作 ・多賀城歴史講座の実施 	R6-R6	5,000	文化財課
19 ☆ ◎	博物館利用情報を活用した地域活力向上事業 新規	<p>東北歴史博物館の観覧券販売会計処理のキャッシュレス化並びに、消費統計をデジタル化して、業務プロセスの業務効率化と生産性向上を実現するため、対面型セミセルフレジシステムの整備を行う。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務のキャッシュレス化・自動集計 ・マーケティングデータ提供サービスの実施 ・レシートキャンペーン連携サービスの実施 	R6-R6	5,400	文化財課
	合計			336,891	

基本方向 7

命を守る力と共に支え合う心の育成

- (1) 地域と連携した防災・安全体制の確立【重点的取組 10】
- (2) 系統的な防災・安全教育の推進

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
01 ☆ ◎	地域連携型学校防災体制等構築推進事業	<p>様々な災害から児童生徒等の命を守るため、地域と連携した学校防災の取組を支援する相談窓口の設置や学校防災アドバイザーの紹介・派遣を行うとともに、実践研究協力校において、地域や関係機関と連携したマニュアルの見直しや避難訓練等の実践研究を行い、成果をフォーラム等で広く普及することで、地域の災害特性を踏まえた地域ぐるみの学校防災を推進する。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置、学校防災アドバイザー（大学等専門家）の紹介・派遣による助言（年間50回程度） ・地域ぐるみの学校防災体制等構築に係る実践研究（実践研究協力校4校、2年間継続した実践研究） ・みやぎ安全教育総合推進ネットワーク会議の開催 ・未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラムの開催 	R6-R6	9,500	保健体育安全課
02 ◎	防災主任・安全担当主幹教諭配置事業	<p>大震災の記憶を薄れることなく後世に伝える仕組みを作るとともに、自然災害に対する危機意識を高め、学校教育における防災教育等の充実を図るため、全公立学校に防災主任を配置する。また、震災にとどまらず、総合的な学校安全、いじめ対策・不登校支援推進に係る地域の学校の中心的な役割を担う安全担当主幹教諭を拠点校に配置する。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災主任の全校配置 ・安全担当主幹教諭の拠点校配置 ・いじめ対策・不登校支援・心のケアに係る地域連携の強化 ・学校・家庭・地域社会が一体となった防災教育の推進 	R6-R10	646,105	教職員課
03 ◎	被災地訪問型研修事業（総合教育センター）	<p>被災地を実際に訪問することにより、震災当時の状況を深く理解し、児童生徒の生命を最優先とする教職員としての意識を伝承及び醸成するとともに、防災に関する最低限身に付けておくべき知識・技能の習得ならびに危機管理に対する意識の向上を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地訪問、講義及び協議等（新任校長及びすべての新規採用者対象） 	R6-R10	2,015	教職員課
04 ◎	小学校スクールゾーン内ブロック塀等除去助成事業	<p>小学校スクールゾーン内の危険なブロック塀等の除却工事に対する助成事業を行う市町村に対して、市町村負担分の一部を補助する。</p>	R6-R9	15,347	建築宅地課
05 ◎	防災ジュニアリーダー養成事業	<p>高校生を対象に、将来の宮城を支え、自主防災組織等における次世代のリーダーなど将来の地域防災の活動の担い手となる「みやぎ防災ジュニアリーダー」を養成し、県内全体の地域防災力の一層の向上を図る。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会の開催（県内2会場で開催、県内高校生100名想定、宮城県防災指導員の認定につなげる内容で開催、東北大学災害科学国際研究所と共催により実施） 	R6-R9	1,800	保健体育安全課
06 ◎	津波対策強化推進事業	<p>防災意識啓発及び被災事象の伝承のため、津波防災シンポジウム等を開催する。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波防災シンポジウム等の開催 	R6-R10	513	防災砂防課
07 [復サ]	震災資料収集・公開事業（再掲）	<p>東日本大震災を後世に伝えるため、震災に関する図書・雑誌などを収集するとともに、県図書館内に「東日本大震災文庫」を設置し、県民に公開する。また、震災記録や被災した地域の地域資料をデジタル化してWeb上で公開する「東日本大震災アーカイブ宮城」を運用し、今後の防災・減災対策や防災教育等への活用支援を行う。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災関連資料の収集・整理・保存 ・「東日本大震災アーカイブ宮城」の保守・運用支援、利活用促進 	R6-R10	11,352	生涯学習課
	合計			686,632	

基本方向 8

学びの保障と教育機会の確保

- (1) 社会全体で子供を支援する体制の充実【重点的取組 1 1】
- (2) 学習環境の整備充実による学びのセーフティネットの構築

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
01 ◎	みやぎ「魅力ある・行きたくなる学校づくり」推進事業	生徒指導上の課題に係る研修会等を通じて、いじめ・暴力行為等の問題行動や不登校等の悩みを抱える児童生徒に適切に対応できる教職員の資質・能力の向上を図る。また、いじめや不登校等の未然防止、早期対応の充実を目指し、課題を抱える市町村教育委員会の支援を通して、域内の学校の校内指導体制及び学校間連携等の関係機関との連携体制の構築・整備を促進し、その成果を広く周知する。 <令和6年度の主な取組> ・みやぎ「魅力ある・行きたくなる学校づくり」推進地区の指定 ・みやぎ「魅力ある・行きたくなる学校づくり」研修会 ・不登校児童生徒支援に関する情報交換会の開催	R6-R10	827	義務教育課
02 [復サ]	学校復興支援対策教職員加配事業	被災した児童生徒に対して、手厚い指導・支援を図るため、被災地の学校を中心に、人的体制を強化し、きめ細かな指導や児童生徒の心のケアを行う。 <令和6年度の主な取組> ・国から配当された復興加配の定数を活用し、心のケア等を行う教員を配置	R6-R7	356,903	教職員課 義務教育課 高校教育課
03 ◎ [復サ]	教育相談充実事業	児童生徒自身が抱える問題や震災による影響等の変化により精神的な苦痛や不安を覚える児童生徒に対して、学校生活の中で心の安定が図られるよう、スクールカウンセラーの配置・派遣を通して、一人一人へのきめ細かい心のケアを行うとともに、相談支援体制の一層の充実を図る。 <令和6年度の主な取組> ・県内中学校へのスクールカウンセラーの配置と小学校への派遣 ・学校や市町村教育委員会の要望に応じたスクールカウンセラーの配置・派遣 ・各教育事務所等への専門カウンセラーの配置 ・不登校児童生徒を支援する施設への支援員やボランティアの派遣	R6-R10	458,998	義務教育課
04 ◎ [復サ]	高等学校スクールカウンセラー活用事業	全県立高校にスクールカウンセラーを配置することにより、多様化・複雑化した生徒・保護者・教員の相談に対応するとともに、地域の関係機関や家庭と連携した指導の充実を図るため、学校の要望に応じ、スクールソーシャルワーカーを配置・派遣する。また、スーパーバイザー等を活用した連絡会議を開催し、震災後の心のケアに関する教職員の資質向上に資するとともに、校内の教育相談体制の強化を図る。 <令和6年度の主な取組> ・スクールカウンセラーの配置(全県立高校) ・スクールソーシャルワーカーの配置(希望する県立高校) ・スーパーバイザーの配置 ・スクールカウンセラー連絡会議の開催 ・スクールソーシャルワーカー連絡会議の開催	R6-R10	104,464	高校教育課
05 ◎	総合教育相談事業	心の問題に関する高度な専門的知識・経験を有する精神科医や臨床心理士が、いじめ、不登校、非行等について、面接又は電話等による教育相談を行う。また、特に震災による心の傷が癒えず様々な環境の変化に適應できない児童生徒に対応して心のケアを進めるよう、相談体制を強化する。 <令和6年度の主な取組> ・不登校・発達支援相談室の設置 ・24時間子供SOSダイヤルの設置 ・SNSを活用した相談の実施	R6-R10	38,068	高校教育課
06 ◎ [復サ]	児童生徒支援体制充実事業	児童生徒自身が抱える問題や児童生徒を取り巻く震災等による環境(家庭、養育環境、友人関係等)の変化等、多様な要因により生じるいじめ対策や不登校支援のために、スクールソーシャルワーカーや支援員等の配置・派遣、心のケア・いじめ対策・不登校児童生徒等支援チームや児童生徒の心のサポート班の運営により、児童生徒や家庭、学校へ多様な支援を行う。 <令和6年度の主な取組> ・児童生徒支援ネットワーク推進協議会の設置 ・スクールソーシャルワーカー活用事業(市町村委託)の実施 ・いじめ防止動画コンクールの実施 ・児童生徒の心のサポート班による学校等への直接支援及び市町村が設置する教育支援センター(みやぎ子どもの心のケアハウス)との連携推進、運営支援 ・スクールロイヤーを活用した生徒指導上の諸課題の対応	R6-R10	370,372	義務教育課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
◎ [復サ]	高等学校生徒支援体制充実事業	いじめ、不登校及び中途退学に対応するため、生徒指導や自己有用感の涵養を図る学習活動の補助を行う学校生活適応支援員、学校等への生徒指導の支援を行う心のサポートアドバイザーを配置するとともに、関係機関や外部の専門家等との連携・協力のネットワークを強化し、組織的・体系的な生徒指導を進め、いじめ、不登校及び中途退学の未然防止を図るとともに、早期発見・早期解決を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・教育活動充実支援事業 ・学校生活適応支援員の配置（希望する県立高校） ・心のサポートアドバイザーの配置（県教育委員会） ・精神保健研修会の開催支援 ・ネットパトロールの実施 ・高等学校生徒指導連絡会議等の開催 ・宮城県いじめ問題対策協議会及び宮城県いじめ防止対策調査委員会の開催	R6-R10	116,838	高校教育課
◎ [復サ]	心のケア研修事業（総合教育センター）【教職員CUP事業】（再掲）	「被災した児童生徒の心のケア」や「学校不適應への対応」等をテーマとする学校単位による研修会を実施し、児童生徒の心のケアに関する教職員の資質能力の向上を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・「学校不適應への対応」をテーマとする学校単位研修会の開催 ・講義又は事例検討を通じた研修会の開催	R6-R7	206	教職員課
◎	子どもメンタルサポート事業（再掲）	児童精神科医により心の問題を有する児童やその家族に専門的なケアを行うとともに、子供の状態に応じた社会適応訓練を提供する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・子どもメンタルクリニックの運営 ・子どもデイケアの運営	R6-R10	34,526	子ども・家庭支援課
☆ ◎	I C Tを活用した心の健康観察事業（再掲） 新規	モデル校を指定し、生徒に貸与されている情報端末等に「心の健康観察相談システム」を導入することで、自死をはじめとする生徒の諸問題への対策として、日常的な心の健康観察等から生徒が発信するSOSサインの早期発見と適切な支援につなげる体制を構築し、その効果について検証を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞（モデル校3校程度） ・相談システムの導入支援 ・生徒及び教職員対象のSOSの出し方教育を含む自死予防教育に係る研修等の開催支援 ・高リスクの生徒への対応としてSC・SSWの緊急派遣	R6-R8	4,448	高校教育課
◎	児童虐待防止強化事業（再掲）	増加傾向にある児童虐待の通告・相談に対応するため、児童相談所の体制強化・職員の専門性の向上、市町村の要保護児童対策地域協議会の強化支援、児童虐待防止の普及啓発を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・児童虐待を防止するためのSNS相談の実施 ・市町村の要保護児童対策地域協議会の機能強化支援 ・生徒・教員を対象とした児童虐待防止講座・児童虐待対応研修会の実施	R6-R8	148,000	子ども・家庭支援課
◎ [復サ]	里親等支援センター事業（再掲）	新たに児童福祉施設として位置付けられた里親支援センターにおいて、里親支援事業等を行い、家庭養育を推進し児童の養育環境の向上を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・里親支援センターの運営を支援	R6-R10	43,694	子ども・家庭支援課
◎ [復サ]	親子滞在型支援施設事業（再掲）	要保護児童と保護者の家族関係の再構築を行うとともに、要保護児童と里親とのマッチング支援を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・家族再統合を目的とした保護者支援プログラムの実施	R6-R10	23,274	子ども・家庭支援課
☆ [復サ]	みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業	学校生活に困難を抱えるようになった児童生徒の、社会的自立や自らの意思による学校復帰を希望する児童生徒への支援を目的として市町村が行う体制整備を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・ケアハウス運営のための補助制度 ・心のケア・いじめ対策・不登校児童生徒等支援プロジェクトチーム、心のサポートアドバイザー、児童生徒の心のサポート班の巡回訪問及び助言等 ・ケアハウス情報交換会の開催 ・民間施設等関係機関との連携強化	R6-R7	204,183	義務教育課
☆ ◎	学び支援教室等支援事業	不登校や不登校傾向の児童生徒、教室で過ごすことに不安を抱える児童生徒の居場所を校内につくり、学習支援と自立支援を図る学び支援教室を設置することで、組織的に不登校等児童生徒を支援する。また、別室支援員を各教育事務所に配置し、別室における個別の学習支援等を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・学び支援教室専任教員として、教員を加配 ・学び支援教室コーディネーターによる運営全体のコーディネート及び学び支援教室専任教員に対する助言・支援 ・児童生徒理解、不登校理解等に関する研修会の実施 ・別室支援員を各教育事務所に配置し、申請があった学校へ派遣	R6-R6	57,172	義務教育課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
16 ☆ ◎	教育DX推進プロジェクト事業(再掲)	ICT機器を活用し、日本語を母語としない生徒への日本語の授業や専門性の高い授業等を学校間で共有・補完することで、個別最適な学びの実現と学校枠を超えた協働的な学びの実現を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・日本語の理解が不十分な生徒や不登校生徒等への授業の配信 ・自校にない、専門性の高い授業や特色のある授業等の配信 ・採点支援システムの導入 ・AIドリル導入	R6-R10	30,613	高校教育課 教職員課
17 ◎	子どもの貧困対策推進事業	地域のニーズや資源に応じた子どもの貧困対策の取組が進められるよう、市町村や活動団体の取組を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・子どもの貧困対策に取り組む市町村への助成 ・子ども食堂をはじめとした子どもの居場所づくりの活動支援	R6-R7	16,353	子ども・家庭支援課
18 [復サ]	東日本大震災みやぎ子ども育英基金事業(奨学金・未就学児支援金)	国内外からの寄附金を積み立てた東日本大震災みやぎ子ども育英基金を活用し、東日本大震災に起因する理由によって保護者が死亡し、又は行方不明となっている児童生徒等について、安定した学びの機会と希望する進路選択が実現できるよう、その修学等を支援し、有為な人材の育成に資するため奨学金等を給付する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・対象者への月額金及び一時金の給付	R6-R10	284,680	教育庁総務課
19 [復サ]	被災児童生徒就学支援事業(公立小中学校)	震災により、経済的な理由から就学等が困難となった世帯の公立小・中学校の児童生徒を対象に、学用品費、通学費(スクールバス利用費を含む。)、修学旅行費、給食費等の就学支援を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・公立小・中学校等被災児童生徒に対する就学援助事業の実施	R6-R7	215,831	義務教育課
20 [復サ]	高等学校等育英奨学資金貸付事業	経済的理由から修学が困難となった生徒に対して奨学資金を貸し付けるとともに、震災を起因とした経済的理由により修学が困難となった生徒を対象に被災生徒奨学資金の貸し付けを行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・従来からの育英奨学資金貸付 ・被災生徒奨学資金貸付	R6-R7	1,623	高校財務・就学支援室
21 ◎	学習支援事業	県内町村を対象に、生活に困窮する世帯の子供に対し、基礎学力の向上を目的とした学習支援及び心の安定を図る居場所の提供を行うとともに、その保護者への相談支援等を実施する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・県内の全町村を対象に、学習支援や保護者への相談支援等の実施	R6-R7	61,405	社会福祉課
22 ◎	要保護児童学習支援事業	児童養護施設に併設する要保護児童一時保護専用施設の運営経費のうち、入所児童への学習支援に要する経費を補助し支援する。	R6-R10	1,161	子ども・家庭支援課
	合計			2,573,639	

基本方向 9

安心して楽しく学べる教育環境づくり

- (1) 地域とともにある魅力ある学校づくりの推進【重点的取組 1 2】
- (2) 教員の資質能力の総合的な向上と働き方改革の推進【重点的取組 1 3】
- (3) 学校施設・設備の整備充実
- (4) 私学教育の振興

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
01 ☆ ◎ [復サ]	協働教育推進総合事業 (再掲)	家庭・地域・学校が協働して子供を育てる環境づくりを推進して、家庭・地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子供を育てる体制の整備を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・協働教育コーディネーター研修会等の実施 ・協働教育推進功績表彰等の実施 ・「みやぎ教育応援団」マッチング会議等の実施 ・地域学校協働本部の設置・地域学校協働活動の推進	R6-R7	58,242	生涯学習課
02 ☆ ◎	小中学校コミュニティ・スクール推進事業 【コミュニティ・スクール推進事業】	「コミュニティ・スクール推進協議会」の開催やCSアドバイザーの派遣により、各市町村の域内全ての学校において、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を核とした学校・家庭・地域の連携・協働体制の導入・拡充を促進し、持続可能な推進体制の構築を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・コミュニティ・スクール推進協議会の開催(年2回) ・「みやぎブッシュ型派遣」の実施(年10回程度)	R6-R8	289	義務教育課
03 ☆ ◎	地域と連携した高等学校魅力化事業 【コミュニティ・スクール推進事業】	学校運営協議会などによる地域と学校の連携により、両者が協働して、これからの地域を担うために必要な資質・能力の育成を図るため、地域の教育資源を活用した実践的で魅力ある教育活動、及びその取組を学校評価により改善する体制づくりを支援することで、社会に開かれた教育課程の実現を図り、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに資する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・学校運営協議会パイロット校事業 ・学校評価を活用したカリキュラムマネジメント支援 ・地域とともに作る魅力ある県立高等学校支援事業	R6-R10	6,949	高校教育課
04 ☆ ◎	地域と連携した特別支援学校魅力化支援事業 【コミュニティ・スクール推進事業】	学校と地域が学校目標を共有し、目標実現のため学校運営に地域の参画を促す取組を研究するとともに、特別支援学校の教育活動の内容とその魅力を効果的に発信し、魅力ある学校づくりに資する取組を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・学校運営協議会を核とする特別支援教育学校魅力化の推進と研究の実施 ・学校と地域の連携・協働に向けた研修等の実施	R6-R6	2,500	特別支援教育課
05 ◎	教職員派遣研修事業 【教職員CUP事業】	独立行政法人教職員支援機構が主催する中央研修や教職大学院などに現職の教職員を派遣し、管理職及び中核的・指導的役割を担うリーダーを養成するほか、人事管理上必要な法定の資格を有する教員を養成する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・教職員支援機構主催の中央研修等への教職員派遣 ・宮城教育大学教職大学院・東北大学大学院への教員派遣 ・学校図書館司書教諭講習への教員派遣 ・福祉系高等学校の介護福祉士等の資格を有する教員の養成	R6-R10	7,825	教職員課
06 ◎	教育職員免許法認定講習事務費 【教職員CUP事業】	教員の資質の保持と向上を図るため、免許法認定講習を開設して現職教員等の特別支援学校教諭免許状の取得や二種免許状を有する者の一種免許状の取得等を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・免許法認定講習開設(10講座)	R6-R10	1,307	教職員課
07 ◎	指導力向上長期特別研修事業 【教職員CUP事業】	教育指導力等に課題があり、児童・生徒に適切な指導ができず、学校現場を離れての研修が必要と認められる教員(指導力不足等教員)に学校以外の教育機関等における多面的な研修を行うことにより、教育への主体的意欲と指導力を回復・伸長させて再び学校現場で活躍できるようにする。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・指導力不足等教員に対する資質能力の回復・伸長のための指導改善研修の実施 ・指導に不安や悩みを抱える教員に対するステップアップ研修の実施 ・指導力不足等教員の認定等に当たる審査委員会の実施	R6-R10	5,147	教職員課
08 ◎	初任者研修事業 【教職員CUP事業】	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の新規採用教諭を対象に実践的指導力と使命感を養うこと等を目的として研修を実施する。また、新規採用教諭の研修期間への対応として、関係学校に対し非常勤講師の配置等を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・新規採用教諭に対する初任者研修の実施	R6-R10	311,552	教職員課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
09 ◎	中堅教諭等資質向上研修事業 【教職員CUP事業】	幼稚園等の8年経過教諭等及び小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の10年経過教諭等を対象として1年間の研修を実施し、学級担任・教科担任等としての経験をもとに、授業力と生徒指導力に関する専門性を発揮しながら、特に中堅教諭等として学校を支える力の伸長を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・教職経験10年経過教諭等に対する授業力・生徒指導力・学校を支える力の向上のための研修の実施	R6-R10	5,956	教職員課
10 ◎	幼稚園等新規採用教員研修事業 【教職員CUP事業】	公立の幼稚園等の新規採用教諭等を対象に実践的指導力と使命感を養うこと等を目的として研修を実施する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・幼稚園等の新規採用教諭等に対する初任者研修の実施	R6-R10	7,041	教職員課
11 ◎	産業人材養成教員研修事業 【教職員CUP事業】	工業科等の専門教科担当教員を一定期間企業等に派遣するなどして最新技術を習得させることにより、専門高校等における産業人材育成の活性化を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・専門教科担当教員の企業等への派遣研修等の実施	R6-R9	1,980	教職員課
12 [復サ]	心のケア研修事業(総合教育センター) 【教職員CUP事業】	「被災した児童生徒の心のケア」や「学校不適應への対応」等をテーマとする学校単位による研修会を実施し、児童生徒の心のケアに関する教職員の資質能力の向上を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・「学校不適應への対応」をテーマとする学校単位研修会の開催 ・講義又は事例検討を通じた研修会の開催	R6-R8	206	教職員課
13 ◎	研修研究事業(総合教育センター) 【教職員CUP事業】	教育関係職員の専門的資質能力の向上を図るため、教職員研修の一環として基本及び専門研修等を実施する。また、全国的な教育研究の動向を踏まえ、常に新しい課題や教育観に基づく先導的な教育研究に当たるとともに、学校の教育活動に直接役立つ実践的、実証的な研究に取り組む。あわせて、教職員の資質向上と指導力充実を図るため、視聴覚機器の整備など各種事業推進の環境を整備する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・「みやぎの教員に求められる資質能力」を踏まえ、教職経験に応じた基本研修・専門研修・総合研修・校内研修支援等の様々な研修会の開催 ・共同研究(5つの研究テーマによる研究)	R6-R10	14,933	教職員課
14 ◎	被災地訪問型研修事業(総合教育センター) (再掲)	被災地を実際に訪問することにより、震災当時の状況を深く理解し、児童生徒の生命を最優先とする教職員としての意識を伝承及び醸成するとともに、防災に関する最低限身に付けておくべき知識・技能の習得ならびに危機管理に対する意識の向上を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・被災地訪問、講義及び協議等(新任校長及びすべての新規採用者対象)	R6-R10	2,015	教職員課
15 ◎	ICTを活用した研究・研修・支援事業(総合教育センター)	受講生が研修場所や時間を自由に設定できるよう、eラーニングやサテライトweb研修システムを整備するなど、教職員の資質能力の向上に資する研修事業をICTを活用して効率的・効果的に実施する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・eラーニングに係るコンテンツの作成 ・サテライトweb研修に係る受講環境の整備 ・受講管理システムを利用した申込や履歴の管理	R6-R7	10,109	教職員課
16 ☆ ◎	採点業務デジタル化による学びの質向上事業(DSキーム) 新規	採点業務における県立中学校及び高等学校の負担軽減を図るとともに、入試事務作業の効率を向上させ、生徒一人一人に対する学習指導、相談体制の充実を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・通常事務へのデジタル採点支援システムの導入 ・入試事務へのデジタル採点支援システムの導入準備	R6-R7	40,500	高校教育課
17 ◎	学校業務改善支援事業	学校における働き方改革を推進するための環境を整備するとともに、教員の意識改革を促し、エンゲージメントの向上や、やりがい、動機付けを高める働き方の質の改革を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・県教育委員会が伴走者となり学校の自律的な働き方改革を支援するプログラムの実施や講演会等による働き方改革の意識付けの実施	R6-R10	6,000	教職員課
18 ☆ ◎	スクールサポートスタッフ配置事業 拡充	教員の業務支援を目的とし、教員の負担軽減を図ることで、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・国の要件を満たし、配置を希望する全ての小中学校へスクールサポートスタッフを配置	R6-R10	161,700	教職員課
19 ☆ ◎	部活動指導員配置促進事業	中学校及び高等学校における部活動指導体制の充実を推進し、部活動を担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・部活動指導員の配置	R6-R10	67,235	保健体育安全課 生涯学習課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
20 ◎	小規模防災機能強化補助事業	みやぎ発展税を活用し、市町村が行う小中学校施設の防災対策事業のうち、国庫補助の対象とならない400万円未満の事業について支援し、安全安心な学校施設の整備を推進するとともに、耐震化の加速化を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・市町村が行う防災機能強化事業「建築非構造部材の耐震対策工事」への支援	R6-R9	19,000	施設整備課
21 ◎	私立学校施設設備災害対策支援事業	私立学校設置者が行う学校施設・設備の非構造部材耐震化に要する経費の一部を補助し、私立学校の防災対策を支援する。	R6-R10	0	私学・公益法人課
22 [復サ]	私立高校生徒支援体制整備事業費補助	震災による環境の変化等を要因とした私立高等学校の不登校支援に従事する専門職や教員の補助員等の経費や別室登校の設置運用に係る経費を補助し、支援体制を整備する。	R6-R9	30,000	私学・公益法人課
23 [復サ]	私立学校施設設備災害復旧支援事業	震災により被害を受けた私立学校設置者が行う施設設備災害復旧に対して補助を行う。	R6-R10	0	私学・公益法人課
24 [復サ]	被災児童生徒就学支援事業費	震災による経済的理由から就学が困難となった世帯の私立小・中学校の児童生徒を対象に、学用品費、通学費、修学旅行費、給食費等の就学支援を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・被災し、就学が困難となった私立学校の児童生徒の保護者に対する学用品費、通学費、修学旅行費、給食費等の就学支援	R6-R8	3,000	私学・公益法人課
25 [復サ]	私立学校授業料等軽減特別補助事業	福島第一原発事故で被災した幼児児童生徒に対し、授業料等を減免した私立学校の設置者に補助する。	R6-R10	4,500	私学・公益法人課
26 [復サ]	私立小中学校授業料軽減特別補助事業	東日本大震災に被災して経済的理由等により修学が困難となった世帯に対し、授業料減免を行った私立小中学校に対する補助を行う。	R6-R7	1,620	私学・公益法人課
27 [復サ]	私立学校スクールカウンセラー等活用事業	被災した児童生徒等の心のケアを行う職員を配置する私立学校の取組を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・学校法人等へのスクールカウンセラー等の派遣	R6-R10	28,845	私学・公益法人課
	合計			798,451	

基本方向 10

学校・家庭・地域が連携・協働して子供を育てる環境づくり

- (1) 家庭の教育力を支える環境づくり【重点的取組 14】
- (2) 地域と学校の連携・協働体制の推進
- (3) 子供たちが安全で安心できる環境づくり

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
01 ☆ ◎	みやぎらしい家庭教育支援事業	家庭教育に関する相談対応、支援ボランティアの育成及び家庭教育支援チームの普及・定着を図ることにより、家庭教育の充実と振興を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・子育てサポーター、子育てサポーターリーダー養成講座等の実施 ・宮城県家庭教育支援チーム派遣の実施 ・各自然の家での幼児を対象とした自然体験活動の実施と親の「学び」と「育ち」の機会の提供 ・中・高生対象の親になるための学びの機会の提供	R6-R10	4,506	生涯学習課
02 ◎	地域子ども・子育て支援事業	市町村が実施する地域子ども・子育て支援事業（放課後児童クラブ活動費、延長保育事業、病児保育事業などの事業で構成）に対して県が補助を行い、働きながら安心して子育てができる環境整備を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・放課後児童健全育成事業等に対する補助	R6-R10	3,100,000	子育て社会推進課
03 ◎	子ども・子育て支援人材育成研修事業	「放課後児童支援員」認定研修事業及び「子育て支援員」養成研修を実施し、子ども・子育て新制度事業の推進を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・放課後児童支援員都道府県認定資格研修の実施 ・放課後児童支援員研修（現任研修）の実施 ・子育て支援員研修の実施	R6-R10	13,945	子育て社会推進課
04 ◎ [復サ]	待機児童解消推進事業	保育所等の整備に対して補助を行い、県内における保育所等の待機児童の解消を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・市町村が実施する民間保育所整備支援に対する助成 ・新子育て安心プランの推進	R6-R7	240,412	子育て社会推進課
05 ◎	子育て支援を進める県民運動推進事業	地域全体で子育てを支援する環境づくりを目指し、企業・団体等の県民総参加による「県民運動」を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・県民運動の普及啓発活動、子育て支援情報の発信 ・子育て家庭を対象としたイベントの開催	R6-R10	15,861	子育て社会推進課
06 ◎	いきいき男女共同参画推進事業	企業等におけるポジティブ・アクションやワーク・ライフ・バランスについての普及啓発を進め、女性も男性も能力を発揮しやすい職場環境づくりを促進するとともに、キャリアアップを目指す女性や女性の活躍を支援する人材の育成を行い、男女共同参画の推進を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・「女性のチカラを活かす企業」認証制度 ・イクボス普及推進地域フォーラムの開催 ・いきいき男女共同参画人材育成セミナーの開催	R6-R7	4,038	共同参画社会推進課
07 ◎	地域女性活躍推進事業	女性の活躍による地域経済の活性化や多様な地域課題の解決に期待が高まっている中、経済団体や各種団体との連携体制を構築し、女性が活躍しやすい環境の整備を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・「みやぎの女性活躍促進連携会議」の運営 ・「みやぎの女性活躍促進サポーター養成事業」の開催 ・女性活躍ネットワーク事業	R6-R6	4,404	共同参画社会推進課
08 ◎	小学校入学準備支援事業	少子化対策の推進及び子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、市町村が行う小学校入学準備支援事業に要する経費について補助金を交付する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・市町村が実施する小学校入学準備支援事業に対する助成	R6-R10	40,350	子育て社会推進課
09 ◎	基本的生活習慣定着促進事業	家庭・学校・地域・企業等と連携・協力し、宮城の将来を担う子供達に「しっかりと寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸びル（ルルブル）」の普及と定着促進を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ 【ルルブル普及啓発事業】 ・基本的生活習慣の重要性を伝えるリーフレットの制作・配布 ・企業等と連携した普及啓発事業の実施 ・みやぎっ子ルルブル推進会議の開催 ・ルルブル通信の発行・みやぎ出前講座の実施等 ・ルルブルのウェブサイトによる情報発信 【ルルブル定着促進事業】 ・ルルブル・エコチャレンジ事業の実施 ・朝食摂取習慣化事業の実施	R6-R10	7,663	義務教育課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
10 ☆ ◎ [復サ]	協働教育推進総合事業	家庭・地域・学校が協働して子供を育てる環境づくりを推進して、家庭・地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子供を育てる体制の整備を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・協働教育コーディネーター研修会等の実施 ・協働教育推進功績表彰等の実施 ・「みやぎ教育応援団」マッチング会議等の実施 ・地域学校協働本部の設置・地域学校協働活動の推進	R6-R7	58,242	生涯学習課
11 ☆ ◎	小中学校コミュニティ・スクール推進事業 【コミュニティ・スクール推進事業】 (再掲)	「コミュニティ・スクール推進協議会」の開催やCSアドバイザーの派遣により、各市町村の域内全ての学校において、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を核とした学校・家庭・地域の連携・協働体制の導入・拡充を促進し、持続可能な推進体制の構築を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・コミュニティ・スクール推進協議会の開催(年2回) ・「みやぎブッシュ型派遣」の実施(年10回程度)	R6-R8	289	義務教育課
12 ☆ ◎	地域と連携した高等学校魅力化事業 【コミュニティ・スクール推進事業】 (再掲)	学校運営協議会などによる地域と学校の連携により、両者が協働して、これからの地域を担うために必要な資質・能力の育成を図るため、地域の教育資源を活用した実践的で魅力ある教育活動、及びその取組を学校評価により改善する体制づくりを支援することで、社会に開かれた教育課程の実現を図り、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに資する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・学校運営協議会パイロット校事業 ・学校評価を活用したカリキュラムマネジメント支援 ・地域とともにつくる魅力ある県立高等学校支援事業	R6-R10	6,949	高校教育課
13 ☆ ◎	地域と連携した特別支援学校魅力化支援事業 【コミュニティ・スクール推進事業】 (再掲)	学校と地域が学校目標を共有し、目標実現のため学校運営に地域の参画を促す取組を研究するとともに、特別支援学校の教育活動の内容とその魅力を効果的に発信し、魅力ある学校づくりに資する取組を支援する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・学校運営協議会を核とする特別支援教育学校魅力化の推進と研究の実施 ・学校と地域の連携・協働に向けた研修等の実施	R6-R6	2,500	特別支援教育課
14 ◎ [復サ]	子ども・若者支援体制強化事業	社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者の支援を効果的かつ円滑に実施するため、各支援機関のネットワークづくりの構築、強化を図るとともに、石巻圏域において様々な相談に対応するための総合相談窓口を設置・運営する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・宮城県子ども・若者支援地域協議会の運営 ・石巻圏域子ども・若者支援地域協議会の運営 ・石巻圏域子ども・若者総合相談センターの運営	R6-R7	18,313	共同参画社会推進課
15 ☆ ◎	部活動地域移行推進事業 拡充	学校と地域が一体となって、将来に渡り生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するため、公立中学校の部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた体制整備を進める。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・部活動の地域移行に向けた実証事業 ・指導者人材バンクの設置	R6-R10	46,912	保健体育安全課 生涯学習課 スポーツ振興課
16 ◎	地域福祉推進事業	地域共生社会の実現に向けた取組を推進するとともに、市町村における取組が積極的に進められるよう支援していく。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・包括的な相談・支援を担う人材育成研修の実施 ・市町村へのアドバイザー派遣の実施 ・地域共生社会推進会議の運営	R6-R10	9,143	社会福祉課
17 ◎	児童虐待防止強化事業	増加傾向にある児童虐待の通告・相談に対応するため、児童相談所の体制強化・職員の専門性の向上、市町村の要保護児童対策地域協議会の強化支援、児童虐待防止の普及啓発を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・児童虐待を防止するためのSNS相談の実施 ・市町村の要保護児童対策地域協議会の機能強化支援 ・生徒・教員を対象とした児童虐待防止講座・児童虐待対応研修会の実施	R6-R8	148,000	子ども・家庭支援課
18 ◎ [復サ]	里親等支援センター事業	新たに児童福祉施設として位置付けられた里親支援センターにおいて、里親支援事業等を行い、家庭養育を推進し児童の養育環境の向上を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・里親支援センターの運営を支援	R6-R10	43,694	子ども・家庭支援課
19 ◎ [復サ]	親子滞在型支援施設事業	要保護児童と保護者の家族関係の再構築を行うとともに、要保護児童と里親とのマッチング支援を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・家族再統合を目的とした保護者支援プログラムの実施	R6-R10	23,274	子ども・家庭支援課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
20 ◎	薬物乱用防止推進事業	<p>麻薬、覚醒剤、大麻等の薬物乱用防止のため、宮城県薬物乱用対策推進計画（第6期）に基づき、行政のみでなく、事業者、民間団体、県民等社会を構成する全ての主体が一体となり、総合的な対策を講じていく。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止指導員等と連携した地域に根ざした薬物乱用防止啓発活動（街頭キャンペーン等）の実施 ・小・中・高等学校で開催される「薬物乱用防止教室」への講師派遣と講師育成 ・大学生や新社会人の世代に対するSNS等を通じた積極的な大麻乱用防止啓発 ・オーバードーズの危険性に関する効果的な啓発資料の作成及び配布 	R6-R10	1,762	薬務課
21 ◎	安全・安心まちづくり推進事業	<p>「犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり基本計画」や「子どもを犯罪の被害から守る条例」、「犯罪のないみやぎ安全・安心まちづくり各種防犯指針」に基づき、各種媒体による広報啓発、防犯ボランティアに対する講習会等を開催し、地域全体で子供を見守っていくという気運を醸成する。</p> <p><令和6年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年向けの防犯リーフレットの作成、配布 ・各種研修会等での説明、リーフレットの配布 ・地域安全教室、地域防犯リーダー養成講座の開催 ・「性暴力被害相談支援センター宮城」の運営委託 	R6-R7	24,500	共同参画社会推進課
	合計			3,814,757	

基本方向 1 1

生涯にわたる学習・文化芸術・スポーツ活動の推進

- (1) 誰もがいつでも学ぶことができる環境の充実【重点的取組 1 6】
- (2) 多様な学びによる地域づくり
- (3) 文化芸術活動の推進
- (4) スポーツの価値を活用した生涯スポーツ社会の構築
- (5) 競技力向上に向けたスポーツ活動の推進

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
◎	生涯学習プラットフォーム構築事業	地域住民、行政、大学等の教育機関、NPO、民間企業等生涯学習や社会教育に携わる人が情報を共有したり、行動連携を具現化するなど緩やかなネットワークを結ぶ。それぞれの専門性や人的・物的資源を効果的に活用することにより、地域の学びを支えるプラットフォームを形成する。 <令和6年度の主な取組> ・生涯学習ポータルサイトの利用促進 ・生涯学習動画コンテンツの充実	R6-R10	1,507	生涯学習課
[復サ]	震災資料収集・公開事業	東日本大震災を後世に伝えるため、震災に関する図書・雑誌などを収集するとともに、県図書館内に「東日本大震災文庫」を設置し、県民に公開する。また、震災記録や被災した地域の地域資料をデジタル化してWeb上で公開する「東日本大震災アーカイブ宮城」を運用し、今後の防災・減災対策や防災教育等への活用支援を行う。 <令和6年度の主な取組> ・震災関連資料の収集・整理・保存 ・「東日本大震災アーカイブ宮城」の保守・運用支援、利活用促進	R6-R10	11,352	生涯学習課
◎	図書館貴重資料保存修復事業(再掲)	県図書館が所蔵している古絵図などの貴重資料を修復し、後世に伝える。また、複製資料(レプリカ)を作成し、学校教育や生涯学習の場での活用を図り、郷土の歴史・文化への理解促進に役立てる。 <令和6年度の主な取組> ・貴重資料(古絵図)の修復作業の実施 ・学校や市町村図書館等への複製資料の貸出	R6-R10	16,555	生涯学習課
◎	人と自然の交流事業(再掲)	自然環境に恵まれた県立自然の家の社会教育施設を活用した自然体験プログラムを実施し、環境保全等に対する理解の動機付けを図るとともに、一人一人が置かれている日々の生活の中で自ら意識を改革し、より良く行動する人材の育成を図る。 <令和6年度の主な取組> ・県立自然の家での自然体験プログラム(学習体験)の実施	R6-R10	2,122	生涯学習課
◎	みやぎ県民文化創造の祭典開催事業	県内で活躍する芸術家や文化活動団体、市町村等と連携・協力し、多彩な文化芸術を体感する機会や日頃の活動成果を発表する場の広がりなどを目的に多様な文化芸術事業を展開する。 <令和6年度の主な取組> ・舞台・美術ワークショップ ・音楽アウトリーチの開催	R6-R10	14,900	消費生活・文化課
[復サ]	文化芸術による心の復興支援事業	被災者の心のケアや地域コミュニティの再生といった取組を継続的に実施していくため、音楽や演劇など様々なジャンルの文化芸術の力を活用した被災者支援活動を支援する。 <令和6年度の主な取組> ・芸術家個人が文化芸術活動を通じて行う心の復興に向けた取組への助成	R6-R7	2,000	消費生活・文化課
[復サ]	先進的文化芸術創造拠点形成事業	芸術祭等の文化芸術事業を中核とする、被災地域の中長期的な再生と心の復興に資する取組に対して支援を行い、文化芸術の力による心の復興や地域活性化を推進する。 <令和6年度の主な取組> ・被災地域を会場として開催される総合芸術祭に関する取組の支援	R6-R8	150	消費生活・文化課
◎	みやぎの文化育成支援事業【みやぎの文化芸術活動支援事業】	青少年に対し、文化芸術を身近に鑑賞する機会を提供するため、巡回小劇場(音楽公演・演劇公演)の開催や宮城県芸術祭及び高等学校文化活動等に対する助成を行い、県の文化育成を支援している。 <令和6年度の主な取組> ・巡回小劇場の開催(音楽公演・演劇公演) ・県芸術祭及び高等学校文化活動に対する助成	R6-R10	6,443	生涯学習課
◎	美術館教育普及事業【みやぎの文化芸術活動支援事業】	県民の創作及び鑑賞活動への参加を促し、美術体験、創作体験を通じて美術の普及を図る。 <令和6年度の主な取組> 出張教育普及プログラム(ワークショップ等の実施) ・学校アウトリーチ、院内学級出前授業の実施 ・まちなか美術講座の開催	R6-R10	3,677	生涯学習課

区分	事業名	事業概要	事業実施期間	R6当初予算額(千円)	担当課室
◎	美術館リニューアル整備事業	施設・設備の老朽化や収蔵庫の狭隘化等が課題となっている県美術館についてリニューアルに向けた改修等を実施する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・美術館リニューアル改修工事 ・美術館収蔵品等保管	R6-R7	1,544,200	生涯学習課
◎	広域スポーツセンター事業	県民の健康増進と活力維持を図るため、地域や年齢・性別・障害の有無に関わらず、誰もがスポーツに親しめるよう、県民が主体的にスポーツを楽しむことができるように「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成に向けた取組を支援するなど、広域スポーツセンター機能の充実を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・総合型地域スポーツクラブの設立・育成及び普及・定着業務の推進 ・生涯スポーツ推進のための会議・研修会の開催	R6-R9	7,420	スポーツ振興課
◎	総合型地域スポーツクラブと連携した子育て支援事業	総合型地域スポーツクラブにおいて、子育て女性支援のためのスポーツプログラムをモデル事業として推進することにより、子育てしやすい地域づくりを目指す。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・放課後児童のスポーツ機会創出 ・子育て女性のリフレッシュ機会創出 ・総合型地域スポーツクラブ中間支援組織の運営支援 ・クラブアドバイザーの配置支援	R6-R6	15,367	スポーツ振興課
◎	メタボリックシンドローム対策戦略事業(再掲)	「第3次みやぎ21健康プラン」に基づき、メタボリックシンドロームの改善など健康づくりを推進するため、家庭、地域や職域等各分野との連携を強化し、食生活の改善、身体活動量の増加、たばこ対策を中心とした生活習慣の改善の啓発事業を行う。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・保健所単位で市町村や職域等の関係機関と連携会議を開催し、メタボ予防啓発事業を行う。 ・質の高い健診・保健指導の拡大を図るため、保健指導従事者、保健指導のリーダー専門職等を対象とした研修(健診・保健指導等実践者育成事業)を行う。	R6-R10	3,716	健康推進課
◎	オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー継承事業	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で得た経験をレガシーとして未来に継承することで、スポーツを通じた県民の健康増進・共生社会の成熟を図る。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・オリパラアスリートと連携したスポーツ交流イベントの開催 ・次世代みやぎアスリートの育成支援 ・東京2020大会レガシー形成支援(ホストタウン支援)	R6-R6	7,700	スポーツ振興課
[復査]	スポーツを通じた被災地交流・震災伝承事業	東日本大震災を契機として築いてきた東京都と被災地との絆をレガシーとして、東京都と被災3県(岩手県、宮城県、福島県)が協力して、スポーツを通じた人的、経済的、文化的交流を一層深めるとともに、東日本大震災から復興した本県の姿を他都県に発信する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・東京都・被災3県スポーツ交流大会	R6-R7	5,100	スポーツ振興課
◎	スポーツ選手強化対策事業	本県のスポーツ振興と競技力及びスポーツ水準の向上を図るため、公益財団法人宮城県スポーツ協会を通じ、各種強化事業を推進する。 ＜令和6年度の主な取組＞ ・国民スポーツ大会総合成績10位台への飛躍を目標にした競技力向上対策事業の推進 ・ジュニア世代での人材発掘と育成強化 ・指導者の指導力・資質向上に向けた研修の実施等	R6-R8	136,540	スポーツ振興課
	合計			1,778,749	